

全国一斉学力テスト結果公表は 競争をあおる

埼玉県で公表はさいたま市のみ 悉皆調査の必要なし 学テは中止に

さいたま市教組新聞

さいたま市
教職員組合
TEL 641-6763
FAX 648-3567
e-mail saitama@kyouiku-net.org
URL http://www2.plala.or.jp/saitama-sikyouso/
2007.11.7(水)
No.131

一〇月二四日、文部科学省が四月二四日実施した全国学力・学習状況調査の結果を発表しました。翌二五日、さいたま市教委は市全体の平均正答率を公表し、さらに二〇日には、設問毎の市全体の正答率を市のホームページに掲載しました。

小学六年と中学三年の児童生徒には、各教科の設問毎の市全体の正答率と、本人の正誤結果が示された表が配布されました。さいたま市教組は、全国一斉学力テストの実施そのものに反対の立場で、参加しないよう要求してきました。実施後は結果の公表を行わないよう市教委に要求してきました。

市教委が結果を公表したことに対し、市教組は強く抗議します。また、結果公表が学校と子ども、そして教職員を競争の渦に巻き込むことを危惧します。事実、その兆候はちらほら見え始めています。

保護者向けプリントで、校長「本校は市平均を上回っている」

A 小学校では、小学六年の保護者向けプリントで、校長が「本校の平均は市の平均を上回っています」と述べました。市教委は、学校毎の結果の公表はしないことを校長会で申し合わせている、と述べましたが、約束違反が起きています。具体的に平均正答率が公

始めたなら、大変なことで

問題Bのために「チャレンジ問題」を

C 小学校では、教務主任が算数の問題Bが出来るようになるためには、教科書の単元のチャレンジをやらないとダメだ、と言いだし、やることになりました。

これも応用する力を云々する話題ではなく、問題Bの点を上げるためには、という観点が真っ先に出ています。

学力テストに学校が振り回され、子どもが振り回され、先生も右往左往しています。

「市平均を上回った」と指導する

D 小学校では研究授業がありました。研究協議会で教育研究所の国語の指導主事が指導講評をしま

した。その中で、文科省の学力テストに触れ、「ここだけの話ですが、さいたま市の子どもたちは日本の学校の大部分をいっている。もっと高い要求をしていい」と話しました。

PISAで学力世界一のフィンランドは、学習内容が理解できない子どもや学習について行けない子どもへの指導をきめ細かく行いました。底上げを徹底的にしたのです。

できる子もいるし、できない子もいます。指導主事は、みんなができるようになることを求めるのではなく、市の子どもたちは高いのもっとできるように、と話しています。

悉皆の全国一斉学力テストは、都道府県・市町村・学校を序列化し、クラス間の序列化の危険を増し、競争と格差の教育を促進させる結果を招きます。学力テストに反対しましょう。

持ち込まざるを得ない個人パソコン 公費でパソコン配置をするのが当然

教育研究所長名で、校長宛に個人所有のパソコンの管理等について文書が出され、個人のパソコンの持ち込みは原則禁止、パスワード設定とパスワードを校長に報告、退勤時に機の引き出し等に行き、などを指示しました。

市教委への提出文書作成、あるいは指導案の作成、校内提案文書は、現在パソコン無しでは作れません。個人パソコン抜きには仕事になりません。それを承知

で何を言うのでしょうか。パスワードは個人の情報を管理するものです。そのパスワードを報告しろとは、全くおかしい。子どもたちに「パスワードは他人に教えたらいけません」と教えているはずで、情報教育のイロハです。すぐに公費でパソコンを配置すべきです。



ひそひそ話

しずか 「どこかの学校は学力テストを前にして、市の学習状況調査の過去問を練習したみたいよ。」
のびた 「じゃあ、うちの校長も来年はやろう、っていいですかもしれないな。」
さくら 「人事評価の自己目標に『学力テストで正答率を』ポイント上げます。なんて書かされるのかしら?」
とらじろ 「公募制で、高学年で問題Bに対応する力を付ける実践を担う人を募集。なんて出るんじゃないか。学力テストで先生がテストされるのか。やだね。」